



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 ホクシン株式会社  
 コード番号 7897 URL <http://www.hokushinmdf.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 入野 哲朗

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 池本 輝男

TEL 072-438-0141

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日

2021年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,106		129		228		173	
2020年3月期								

(注) 包括利益 2021年3月期 240百万円 ( %) 2020年3月期 百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	6.13		3.3	1.8	1.4
2020年3月期					

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 3百万円 2020年3月期 百万円

(注) 2021年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	12,678	5,251	41.4	185.21
2020年3月期				

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,251百万円 2020年3月期 百万円

(注) 2021年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値については記載しておりません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	244	572	421	1,808
2020年3月期				

(注) 2021年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		2.00	2.00	56		
2021年3月期		0.00		1.50	1.50	42	24.5	0.8
2022年3月期(予想)		0.00						

(注) 2021年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、純資産配当率(連結)は期末1株当たり純資産に基づいて計算しております。2022年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,800		70		50		40		1.41
通期	9,800	7.6	120	7.3	50	78.1	30	82.7	1.06

(注) 2021年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の対前年同四半期増減率については記載していません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) C&H株式会社、除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期	28,373,005 株	2020年3月期	28,373,005 株
2021年3月期	20,497 株	2020年3月期	20,413 株
2021年3月期	28,352,580 株	2020年3月期	28,352,678 株

期末自己株式数

期中平均株式数

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,106	13.6	129	41.7	224	9.3	148	3.4
2020年3月期	10,539	7.3	222	30.5	247	27.1	154	37.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	5.25	
2020年3月期	5.44	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	12,616	5,210	41.3	183.79
2020年3月期	12,376	5,052	40.8	178.19

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,210百万円 2020年3月期 5,052百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
2. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、中国の輸出回復をはじめ国内外の需要回復を受け製造業は底堅く推移したものの、新型コロナウイルス拡大による緊急事態宣言の再発令を受け、外出自粛に伴う非製造業の経済活動が弱含み、下振れとなりました。

当社グループと関係の深い住宅業界におきましては、住宅取得に伴う政府の補助金や減税などの優遇制度の延長及び住宅ローン低金利を背景に、住宅関連各社の営業活動再開や新型コロナ感染拡大防止に伴う在宅勤務の広がり等による持家の増加により回復傾向にあるものの、住宅市場を取り巻く環境は依然低調であり、4月から3月の累計で新設住宅着工戸数は、前年比8.1%減となりました。

当社グループの業績につきましては、構造用途製品の販売は底堅く推移しましたが、新設住宅着工戸数が減少した影響を受け、主力である建材用途製品及びフロー材用途製品の販売量が減少しました。家具用途が主体の輸入MDF製品においては、市況の悪化に加えて、コンテナ船の不足や米国・ニュージーランドの旺盛な需要により国内在庫が逼迫したことにより販売量が減少となりました。

生産面においては、販売量の減少に伴い大幅な減産を余儀なくされましたが、原材料単価の低下やエネルギー単価の低下に加え、4月より本格稼働を開始した木質チップ異物除去装置の効果や、製造経費の大幅な抑制により、売上原価は前年比で減少となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は91億6百万円となりました。国内製品のスターウッドは、44億55百万円、スターウッドT F Bは、32億14百万円となりました。輸入商品は13億65百万円となりました。営業利益は1億29百万円、経常利益は2億28百万円、当期純利益は1億73百万円となりました。

なお、当連結会計年度よりC&H株式会社を連結子会社とし連結財務諸表を作成しておりますので、前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当連結会計年度末における総資産は、126億78百万円となりました。

流動資産は、64億13百万円となりました。流動資産の主な内訳は、現金及び預金の18億8百万円、受取手形及び売掛金の15億86百万円と電子記録債権の10億37百万円になります。

固定資産は、62億65百万円となりました。固定資産の主な内訳は、土地の31億94百万円と機械装置及び運搬具の18億2百万円になります。

流動負債は、42億67百万円となりました。流動負債の主な内訳は、支払手形及び買掛金の17億68百万円と1年内返済予定の長期借入金の15億49百万円になります。

固定負債は、31億60百万円となりました。固定負債の主な内訳は、長期借入金の29億84百万円になります。

負債合計は、74億27百万円となりました。

純資産は、52億51百万円となりました。純資産の主な内訳は、資本金の23億43百万円と利益剰余金の28億27百万円になります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、18億8百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、2億44百万円となりました。主な増加要因は、税引前当期純利益、減価償却費、売上債権の減少、たな卸資産の減少によるものです。主な減少要因は、仕入債務の減少と割引手形の減少によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、5億72百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られた資金は、4億21百万円となりました。これは主に長期借入金の純増によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	—	—	—	—	41.4
時価ベースの自己資本比率	—	—	—	—	28.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—	21.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	11.2

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注4) 当期より連結会計年度が開始したため、2020年3月期以前のキャッシュフロー関連指標を記載しておりません。

(4) 今後の見通し

住宅業界における景気の動向は、新型コロナウイルスワクチンの浸透による景気回復が、新設住宅着工戸数を下支えすると期待されますが、依然新型コロナウイルスの拡散収束は予断をゆるさず、先行き不透明な状態にあります。また、急回復を見せる世界景気による原油価格上昇や原材料需給の引き締めは原材料費、エネルギー費を高騰させ製造原価を上げることが予測されます。このような状況下で、販売においては、C&H株式会社を連結子会社としたことによる営業活動の強化を行います。建材製品向けの販売量確保とフロー基材用途向け製品の拡販に加え、市場が拡大基調にある構造用製品の販売をより強力に推し進めてまいります。生産においては、解体材や針葉樹材の比率をあげるにより環境負荷軽減を促進し、品質改善を推し進め、数量、価格ともに安定して市場に供給できるよう努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社企業グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また海外からの資金調達の実現性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金		1,808,360
受取手形及び売掛金		1,586,007
電子記録債権		1,037,994
商品及び製品		760,893
仕掛品		251,147
原材料及び貯蔵品		927,095
その他		42,225
流動資産合計		6,413,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物		2,361,816
減価償却累計額		△1,895,008
建物及び構築物（純額）		466,807
機械装置及び運搬具		13,122,521
減価償却累計額		△11,319,907
機械装置及び運搬具（純額）		1,802,613
土地		3,194,589
建設仮勘定		135,298
その他		171,566
減価償却累計額		△143,558
その他（純額）		28,007
有形固定資産合計		5,627,317
無形固定資産		14,781
投資その他の資産		
投資有価証券		605,155
繰延税金資産		4,233
その他		14,366
貸倒引当金		△600
投資その他の資産合計		623,155
固定資産合計		6,265,254
資産合計		12,678,977

(単位：千円)

当連結会計年度  
(2021年3月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,768,825
短期借入金	600,000
1年内返済予定の長期借入金	1,549,400
未払法人税等	52,394
賞与引当金	104,700
役員賞与引当金	6,600
その他	185,554
流動負債合計	4,267,474
固定負債	
長期借入金	2,984,100
繰延税金負債	122,046
退職給付に係る負債	20,869
資産除去債務	11,512
その他	21,921
固定負債合計	3,160,449
負債合計	7,427,924
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,343,871
利益剰余金	2,827,469
自己株式	△3,572
株主資本合計	5,167,767
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	66,157
繰延ヘッジ損益	17,127
その他の包括利益累計額合計	83,285
純資産合計	5,251,052
負債純資産合計	12,678,977

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	9,106,909
売上原価	7,858,900
売上総利益	1,248,008
販売費及び一般管理費	1,118,541
営業利益	129,466
営業外収益	
受取利息	91
受取配当金	14,343
持分法による投資利益	3,989
業務受託料	20,910
助成金収入	38,867
電力需給協力金	46,803
その他	11,340
営業外収益合計	136,346
営業外費用	
支払利息	20,659
売上割引	4,561
固定資産除却損	11,232
その他	1,070
営業外費用合計	37,523
経常利益	228,290
特別利益	
段階取得に係る差益	359
投資有価証券売却益	4,470
負ののれん発生益	20,495
受取保険金	7,465
特別利益合計	32,790
特別損失	
投資有価証券評価損	21,625
特別損失合計	21,625
税金等調整前当期純利益	239,455
法人税、住民税及び事業税	50,219
法人税等調整額	15,513
法人税等合計	65,732
当期純利益	173,723
親会社株主に帰属する当期純利益	173,723

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
当期純利益	173,723
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	63,968
繰延ヘッジ損益	2,497
その他の包括利益合計	66,465
包括利益	240,188
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	240,188
非支配株主に係る包括利益	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,343,871	2,710,451	△3,563	5,050,759
当期変動額				
剰余金の配当		△56,705		△56,705
親会社株主に帰属する 当期純利益		173,723		173,723
自己株式の取得			△9	△9
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	117,017	△9	117,008
当期末残高	2,343,871	2,827,469	△3,572	5,167,767

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,189	14,629	16,819	5,067,578
当期変動額				
剰余金の配当				△56,705
親会社株主に帰属する 当期純利益				173,723
自己株式の取得				△9
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	63,968	2,497	66,465	66,465
当期変動額合計	63,968	2,497	66,465	183,474
当期末残高	66,157	17,127	83,285	5,251,052

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前当期純利益	239,455
減価償却費	335,093
受取利息及び受取配当金	△14,434
支払利息	20,659
持分法による投資損益 (△は益)	△3,989
売上債権の増減額 (△は増加)	153,869
たな卸資産の増減額 (△は増加)	207,819
仕入債務の増減額 (△は減少)	△212,826
負ののれん発生益	△20,495
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21,414
投資有価証券評価損益 (△は益)	21,625
固定資産除却損	11,232
受取保険金	△7,465
助成金収入	△38,867
段階取得に係る差損益 (△は益)	△359
割引手形の増減額 (△は減少)	△422,551
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,212
電力需給協力金	△46,803
その他	3,425
小計	188,759
利息及び配当金の受取額	14,434
利息の支払額	△21,862
法人税等の支払額	△4,482
助成金の受取額	38,867
保険金の受取額	7,465
災害損失の支払額	△25,773
電力需給協力金の受取額	46,803
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,212
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
投資有価証券の売却による収入	6,560
有形固定資産の取得による支出	△642,943
無形固定資産の取得による支出	△2,000
有形固定資産の除却による支出	△5,476
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	83,519
環境債務の支払額	△12,285
その他	477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572,149
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	2,300,000
長期借入金の返済による支出	△1,476,500
配当金の支払額	△56,705
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△345,000
その他	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	421,785
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	93,847
現金及び現金同等物の期首残高	1,714,512
現金及び現金同等物の期末残高	1,808,360

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、MDF事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	185.21円
1株当たり当期純利益	6.13円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	173,723
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	173,723
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,352

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,251,052
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,251,052
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	28,352

(重要な後発事象)

該当事項はありません。